

# 動画を埋め込んだ講演概要の募集について

## Call for movie-embedded PDF abstracts

宮崎修次, 今井貴史\*, 森野佳生

Syuji Miyazaki, Takashi Imai\*, Kai Morino

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学 情報学研究科

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 京都大学 工学部\*

Graduate School of Informatics, Kyoto University, 606-8501, Kyoto  
Department of Engineering, Kyoto University, 606-8501, Kyoto\*

### 概要

8:51 2008/07/06 更新

第66回 形の科学シンポジウムでは, 新たな試みとして, 会場で配布される講演概要をシンポジウムのホームページでもPDF形式で公開するほか, 動画を埋め込んだPDFも通常の講演概要とは別に募集し, ホームページで公開します. 通常の講演概要の白黒, グレースケールの図・グラフ・静止画の部分をカラフルな動画で置き換えたPDF形式の講演概要をお送り下さい (希望者のみ)

### Keywords

PDF, DVIPDFMx

## 1 はじめに

Adobe Acrobat の製品版を使えば, 動画を埋め込んだPDFのファイルを容易に作成できますが, ここでは, 無償のソフトウェアを利用する方法をご案内致します.

## 2 movie15.sty と DVIPDFMx

DVIPDFMx に対応した TeX のスタイルファイル movie15.sty (by Alexander Grahn) を <http://project.ktug.or.kr/dvipdfmx/contrib/latex/movie15.sty.sample> から入手し, movie15.sty にリネームして, TeX のパスが通ったところにおきます. movie15.sty の解説については

<http://tug.ctan.org/tex-archive/macros/latex/contrib/movie15/>  
におかれたものをご覧下さい。The DVIPDFMx Project のサイトによると、DVIPDFMx  
の 20080607 版で正式に movie15.sty に対応したようです。movie15.sty を使用する場合は、  
DVIPDFMx のバージョンに注意してください。

TeX ソースのプリアンプルに以下を書き足します。

```
\usepackage[dvipdfmx]{movie15}
\usepackage[dvipdfmx]{graphicx}
\usepackage[dvipdfmx]{hyperref}
```

PDF でしおりの作成や表示をしない場合は

```
\usepackage[dvipdfmx,bookmarks=false,pdfstartview={}]{hyperref}
```

としてください。そして、動画を入れたい場所に、

```
\includemovie[<options>]{<width>}{<height>}{<media file>}
```

を書き入れます。これらのコマンド類に関しては、movie15.sty のドキュメントを読んで  
ください。TeX ソースが完成したら、DVI ファイルに変換し、続けて DVIPDFMx で PDF  
に変換します。DVI の段階では動画は再生されませんが、PDF を Acrobat Reader で開け  
ば、動画が再生されます。TeX の環境によっては、「\ifdraft は定義済みです」といった  
主旨のエラーが出るかもしれません。その場合、TeX のディレクトリから ifdraft.sty を探  
しだし、45 行目の `\newcommand*{ifdraft}{\def\ifdraft{}` に書き換えます。

動画の埋め込み例

### 3 おわりに

動画の埋め込みにはいろいろな方法があると思います。環境によっては上記の方法がう  
まく機能しない場合もあると思います。動画の埋め込みに関する技術的な質問には、シン  
ポジウム世話人の方では、対応できない場合もありますので、予めご了承下さい。